

2014年度 ギリアード ミショリ氏 ピアノ 特別講義

1. 日 時 : 2014年6月3日(火)11時15分～12時45分
2. 場 所 : ミレニウムホール
3. 対象学生【必修】 : 大学「ピアノ演奏法A I・A II」受講生 他聴講可(学内学生・教員のみ)
4. 講 師 紹 介 : Gilead Mishory

1960年、エルサレムで生まれ、ルービン・アカデミーで学ぶ。その後、アルフレッド・ブレンデル Alfred Brendel の薦めによって、ミュンヘンでゲルハルト・オピッツ Gerhard Oppitz に、ザルツブルクでハンス・ライグラフ Hans Leygraf に師事する。著名なオーケストラ、室内楽奏者と世界中で共演する。また20世紀と21世紀の音楽に重きを置いている。ヤナーチェクのピアノ作品、ピアノのある室内楽全作品を演奏した最初の人でもある。CD はハイドン、ヤナーチェク、シューベルト、バルトークをリリースし、ラジオやテレビ収録は多数である。著名な批評家たちは、彼のことを「音の手品師」、「テクニックが完璧なピアノの詩人」、「センスがあり、魅力的で、機知的なピアニスト」と評している。2年間ドルトムント音楽大学で教授を務めた後、2000年、フライブルク音楽大学の教授にカール・ゼーマン Carl Seemann やロバート・レヴィン Robert Vevin、ミシェル・ベロフ Michel Beroff の後継者として就任。定期的に世界中でマスタークラスを開講している。現在、同大学ピアノ科主任教授。

5. 講 義 概 要

～公開レッスン～

菊楽 美紀 (大3・「専門特殊研究(ピアノ)A I」受講生)
ショパン バラード第4番 作品52

中島 玲美 (大3・「専門特殊研究(ピアノ)A I」受講生)
メンデルスゾーン 厳格なる変奏曲 作品54